







氏名	略歴・実績・自己PR等
赤羽 雄二	<p>東京大学工学部を1978年に卒業後、小松製作所で建設現場用ダンプトラックの設計・開発に携わる。1983年よりスタンフォード大学大学院に留学し、機械工学修士、修士上級課程を修了。</p> <p>1986年、マッキンゼーに入社。経営戦略の立案と実行支援、新組織の設計と導入、マーケティング、新事業立ち上げなど多数のプロジェクトをリード。1990年にはマッキンゼーソウルオフィスをゼロから立ち上げ、120名強に成長させる原動力となるとともに、韓国企業、特にLGグループの世界的な躍進を支えた。</p> <p>2002年、「日本発の世界的ベンチャー」を1社でも多く生み出すことを使命としてブレークスルーパートナーズ株式会社を共同創業。最近は大企業の経営改革、経営人材育成、新事業創出、オープンイノベーションにも積極的に取り組んでいる。ベストセラー「ゼロ秒思考」、「7日で作る事業計画書」著者。</p> <p>メール：<a href="mailto:akaba@b-t-partners.com">akaba@b-t-partners.com</a>            HP：<a href="http://www.b-t-partners.com">www.b-t-partners.com</a>            ブログ：<a href="http://b-t-partners.com/akaba/">http://b-t-partners.com/akaba/</a></p>
所属・役職	
ブレークスルーパートナーズ株式会社・マネージングディレクター	
	


氏名	略歴・実績・自己PR等
伊藤 健吾	<p>三井物産にてIT・エレクトロニクス事業に従事。シリコンバレー子会社でのベンチャー投資や新規事業立ち上げなどを経て、出資先のスタートアップ企業に転籍して代表を務める。シリコンバレー駐在時のベンチャー投資の現場の体験から日本含む東アジアにシリコンバレーのようなスタートアップが次々に生まれるエコシステムを作りたいと考え、同じビジョンを持つ孫泰蔵と意気投合。MOVIDA JAPANのSeed Acceleration Programを立ち上げ責任者をつとめる。</p> <p>2012年11月Genuine Startups Ltd.を設立、Managing Directorに就任。Seed期のスタートアップ企業に投資するGenuine Startups Fund Iを組成し50社以上の創業支援を行う</p> <p>東京大学工学部卒、東京大学大学院卒（工学修士）</p>
所属・役職	
Genuine Startups Ltd. General Partner	
	


氏名	略歴・実績・自己PR等
伊藤 毅	<p>2003年東京工業大学大学院 理工学研究科化学工学専攻修了。2003年株式会社ジャフコ入社 第二投資本部に配属。2008年 同社 第三投資運用本部 産学連携投資運用部に配属 2011年同社産学連携投資グループリーダーに就任。2014年株式会社ジャフコ退社。前職に社外取締役として支援した投資先は、スパイバー株式会社、CYBERDYNE 株式会社、クオントムバイオシステムズ株式会社、株式会社サイフューズ、マイクロ波化学株式会社がある。社外取締役として支援した CYBERDYNE 株式会社が 2014年 3月に東証マザーズに上場。技術系ベンチャーがこれからの日本を創っていくと信じています。創業者と共に、世界に貢献できる技術系ベンチャーを数多く支援していきたいと思っています。</p>
所属・役職	
De Lorean Ventures 株式会社 代表取締役社長	
	


氏名	略歴・実績・自己PR等
加藤 晴洋	<p>(学歴) 東京大学工学部卒 東京大学大学院工学系研究科修士課程卒 マサチューセッツ工科大学経営大学院留学 (Visiting Fellow)</p> <p>(実績) 日本電気入社、経営情報システム本部、企画部、事業開発部等で、主任、課長、部長を歴任 NEC USA 社出向、経営企画部長、等歴任。ベンチャー開拓、投資、アライアンス構築関連等の業務に従事 (この間、インテル 64 ファンド業務にも従事)。その後、NEC の投資先である北米 VC (Dali Hook Partners、KeyNote Ventures) で、Venture Partner、General Partner を歴任。シリコンバレーにおける独立系 VC のメンバとして 10 年以上の活動。その間、投資先ベンチャー企業 7 社余りの取締役を務める。現在、日本の VC でベンチャー投資・育成活動に従事。同時に大学で、研究者に対する起業家教育を担当。</p> <p>(心情、等) 日本人 (特に若者) や日本企業の持つ技術ポテンシャルをより有効に事業化に結びつけることにより、日本がより豊かになり、日本が世界に対してより大きな貢献ができるように、私のこれまでの 10 年以上にわたるシリコンバレー経験等を生かして、ベンチャー的な起業・事業化を様々な形で支援したい。(グローバル指向を持ったやる気のある若者に対する支援を特に大事にしたい。)</p>
所属・役職	
イノベティブベンチャーファンド・ パートナー/ 東京大学産学連携本部・ 特任研究員	
	

氏名	略歴・実績・自己PR等
曾我 弘	<p>静岡大学工学部卒業、東京大学工学博士            新日鉄退社後、1991年にシリコンバレーに移住。画像圧縮技術開発のベンチャー企業 Eidesign Technologies, Inc.を設立、経営。1996年に Spruce Technologies, Inc.を設立。DVDオーサリングシステムを開発・商品化し、今日のDVD普及の一翼を担う。旗艦商品「DVDMaestro」はハリウッドでのデファクト標準になり、大手企業の顧客を持つ。最終的に、同社を Apple Computer へ売却。2010年に帰国後、スタートアップ企業との日米間のオープンイノベーションを目指し活動中。東北大学と共同事業化の検討を行い、その後市場調査を推進するため、シリコンバレーに Blue Jay Energy, Inc.を吉川絵美と共同で設立。また2011年から能登左知氏と KAPION®（カピオン <a href="http://www.kapion.net">http://www.kapion.net</a>）を立ち上げ、現在は起業家個人から社内起業家まで幅広く、シリコンバレー流起業手法による研修・個別メンタリングを実施している。            21C クラブメンバー。            著書「新版シリコンバレー流起業入門」（同友館 2013）</p>
所属・役職	
株式会社カピオン 代表取締役	
	

氏名	略歴・実績・自己PR等
田辺 英二	<p>1968年、静岡大学工学部卒業。1975年、米国デューク大学大学院博士課程終了後、シリコンバレーのバリアン社とスタンフォード大学との産学連携プロジェクト”Hyperthermia”及び“超小型マイクロ波加速器開発”に従事。1978年、バリアン社マイクロ波研究室マネージャーに就任、マイクロ波の医療応用及び工業応用の開発責任者として電子加速器、マイクロ波装置、放射線装置の開発に従事。1986年、シリコンバレーに AET Associates Inc. を設立、President に就任。1988年、川崎市に株式会社エー・イー・ティー・ジャパン（現：株式会社エーイーティー）を設立、代表取締役に就任。2001年、東京工業大学原子炉工学研究所講師に就任。2002年、東京大学大学院工学研究部門非常勤講師に就任。2005年、株式会社アキュセラを設立、代表取締役に就任。            電磁波、マイクロ波、光、プラズマ、荷電粒子、X線応用に関するソフトウェアとハードウェアの技術を中心に、通信、医療等の分野において新製品の開発、製造、販売、輸出入、サービス事業の展開を行うと共に、東京大学大学院にて教育、開発に取り組みながら日米における先端技術のビジネスを経験を基に、国際的に産学連携を推進している。また、がんの高精度集学治療とセカンドオピニオンの NPO 活動を行っている。</p>
所属・役職	
株式会社エーイーティー 代表取締役社長	
	

氏名	略歴・実績・自己PR等
前田 信敏	<p>早稲田大学政治経済学部経済学科卒業、早稲田大学大学院商学研究科ビジネス専攻修了（MBA）。大和企業投資(株)勤務等を経て、2008年よりウエルインベストメント(株)投資部長。2009年より早稲田大学アントレプレヌール研究会理事。2012年より文部科学省・大学発新産業創出拠点プロジェクト事業プロモーター。2013年より早稲田大学インキュベーションセンターシニアコンサルタント。</p> <p>自己PR『大学発ベンチャー企業をはじめとする、高い技術力や斬新なビジネスモデルをもつ、アーリーステージのベンチャー企業に対する事業支援を長年手掛けています。孤独な経営者の良きパートナーとして、グローバルに成長するベンチャー企業の成長に少しでも貢献したいと考えています。高い技術力や斬新なビジネスモデルをもつ、ベンチャー企業の皆様、ぜひご連絡頂けましたら幸いです。よろしくお願い致します。』</p>
所属・役職	
ウエルインベストメント株式会社・投資部長	
	

氏名	略歴・実績・自己PR等
松田 一敬	<p>略歴：慶応大学経済学部卒業。INSEAD（欧州経営大学院、フランス）にてMBA取得、小樽商科大学大学院商学研究科修士課程修了（修士（商学））、北海道大学大学院医学研究科博士課程修了（医学博士）。</p> <p>実績：1986年より山一証券(株)証券引受部にて国内企業、政府系企業、自治体等の資金調達を担当、その後1991年より1996年まで同社ロンドン現地法人にて中東、アフリカ、東欧諸国等を担当。帰国後、1997年より北海道ニュービジネス協議会にて創業支援を行った後、2000年に国内初の地域密着型VCである北海道VC設立。一方、2000年に札幌ITベンチャーのコミュニティである札幌BizCafeを設立、サッポロバレーのベンチャーを支援、IPOにつなげるとともに域内IT産業クラスターの成長に貢献、売上げ規模を2倍の4000億円まで拡大させる。2000年、国立大学発ベンチャー第1号の設立に関与する等、大学発ベンチャー支援の国内の草分けであり大学発バイオベンチャー複数社のIPOにもつなげる。製薬企業向けマイルストーン契約の締結等、知財の事業化の実績を積む。2011年、京都に合同会社SARR設立。テクノロジー&amp;ビジネスプランコンテスト in KYOTOの開催、起業家教育、ハイテクスタートアップの支援等を行っている。</p> <p>URL:<a href="http://www.sarr-llc.com/">http://www.sarr-llc.com/</a></p>
所属・役職	
合同会社 SARR・代表執行社員	
	

氏名	略歴・実績・自己PR等
安友 雄一	昭和 56 年北海道大学大学院工学研究科原子工学専攻博士後期課程修了（工学博士）後、ブラザー工業株式会社入社。
所属・役職 ブラザー工業株式会社 新規事業推進室・ グランドマスター	昭和 61 年パソコンソフト電子流通システム「ソフトベンダータケル」を社内ベンチャーとして立ち上げ収益事業化に成功。 平成 4 年ベンチャー事業立ち上げのために株式会社エクシングを設立（カーブアウト）し、代表取締役就任。通信カラオケ「JOYSOUND」を推進し、成功させる。以降、エクシングでは、携帯電話向け着メロ（ポケメロジョイスOUND他）等のコンテンツビジネスを推進積極展開し、今日の B2C コンテンツデリバリー事業の草分けとなった。
	平成 13 年ブラザー工業に戻り、グループ新規事業／ベンチャー投資事業（CVC）をスタート。高齢化社会に向けたコンテンツ事業として、健康事業「エクサミュージック、JOYBEAT」を立ち上げ。一方、CVC は、13 億円規模のファンドを組成・運用し、事業アイデアの発掘と高いパフォーマンス（プラスの運用益）を達成した。常識にとらわれず、独創的な発想で突破力のある方々と一緒に、将来に向けた活動が出来れば幸甚です。